

県議会 2月定例会

会期内の終了目指して 総務委員会収束へ

県議会は18日、本会議を行い2005年度予算等関連議案が採択される予定でしたが、17日の総務委員会で、知事の泰阜村住民票をめぐる裁判費用を長野市や泰阜村もそれぞれ負担していたことに対してどう考えているのかということに対して、松林経営戦略局長が「住所の移転は県民益」であったとの発言を繰り返し、発言取り消しや謝罪を求める議会側と平行線で委員会が空転。本会議は22日に延会されていました。

本日、22日の県議会は朝から総務委員会が断続的に開かれ、知事が委員会に呼んで発言の機会を求めたり、総務委員の一部に松林経営戦略局長の謝罪がされなければ認めないという意見などがありましたが、石坂議員の「委員会の空転は県民に理解されない」という意見を受けて、経営戦略局長の問題は県議会議長に一任して、委員会審議が再開され行なわれています。

総務委員会終了から本会議準備まで約5時間かかるとされていますので、本会議は今夜9時から10時に開会する見通しです。

本会議は、新年度予算案ならびに修正案、人事案等に対する賛成・反対の討論が行なわれ、本会議のすべての議事が終了するのは明日未明の予定です。

予算案および修正議案に対する共産党県議団の対応

- 新年度当初予算案賛成。高校授業料の値上げ、各種県立学校の入学金・授業料・寄宿料の値上げには反対。
- 人事案件では副知事賛成。教育委員人事案では丸山氏賛成。田中氏反対。

議会側から出されている修正案についての賛否

- 賛成するものは ○青山貞一環境保全研究所所長の報酬額減額
- 県警への県職員40人出向中止
- 反対するものは ○ITバス全額削除
- 県の広報予算減額
- 木製ガードレール事業減額
- スキー王国NAGANO事業全額削除